

平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月3日

上場取引所 東・名

上場会社名 太平洋工業株式会社

コード番号 7250

URL <http://www.pacific-ind.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小川信也

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 渡辺智

(TEL) 0584-93-0117

四半期報告書提出予定日 平成28年2月9日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	79,967	9.1	5,417	13.0	6,710	9.5	5,435	22.9
27年3月期第3四半期	73,308	8.1	4,794	17.2	6,125	14.0	4,424	27.5

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 2,662百万円(△68.5%) 27年3月期第3四半期 8,450百万円(△6.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	101.34	89.82
27年3月期第3四半期	82.68	73.21

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	133,094	76,784	57.0
27年3月期	133,694	75,459	55.5

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 75,878百万円 27年3月期 74,142百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	8.00	—	16.00	24.00
28年3月期	—	12.00	—		
28年3月期(予想)				12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	104,500	4.6	7,700	10.6	8,800	1.3	6,400	△4.7

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 1社(社名) 太平洋開発株式会社

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2.【サマリー情報(注記事項)に関する事項】(1)【当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動】」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	55,035,732株	27年3月期	54,646,347株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	1,037,061株	27年3月期	1,121,570株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	53,642,782株	27年3月期3Q	53,508,357株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 【当四半期決算に関する定性的情報】	2
(1) 【経営成績に関する説明】	2
(2) 【財政状態に関する説明】	3
(3) 【連結業績予想などの将来予測情報に関する説明】	3
2. 【サマリー情報(注記事項)に関する事項】	4
(1) 【当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動】	4
(2) 【四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用】	4
(3) 【会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示】	4
(4) 【追加情報】	4
3. 【四半期連結財務諸表】	5
(1) 【四半期連結貸借対照表】	5
(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】	7
(3) 【四半期連結財務諸表に関する注記事項】	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 【当四半期決算に関する定性的情報】

(1) 【経営成績に関する説明】

当第3四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年12月31日)におけるわが国経済は、引き続き、企業業績の回復や雇用・所得環境の改善傾向がみられるなど、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、海外では、回復基調が継続するものの力強さに欠ける米国・欧州や、減速傾向が継続する中国など、引き続き、世界の景気は先行き不透明な状況にあります。

このような中、当社グループの主要事業分野であります自動車関連業界におきましては、主要顧客の自動車生産台数は、米国では前年同期並みで推移したものの、日本および中国においては前年同期を上回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、円安による為替影響もあり、799億67百万円(前年同期比9.1%増)となりました。また、利益面では、営業利益は54億17百万円(前年同期比13.0%増)、経常利益は67億10百万円(前年同期比9.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は54億35百万円(前年同期比22.9%増)となりました。

【セグメント別の状況】

(プレス・樹脂製品事業)

主要顧客の自動車生産台数は、日本、米国および中国の全体で、若干の増加となったこと、また、円安による為替影響などにより、当事業全体の売上高は551億5百万円(前年同期比10.5%増)となりました。利益面では、売上増加や原価改善効果があったものの、原材料コストや償却費の増加によるマイナス影響があり、営業利益は7億48百万円(前年同期比3.9%減)となりました。

(バルブ製品事業)

T PMS製品の販売が順調に推移したことなどから、当事業全体の売上高は前年同期を上回り、売上高は245億22百万円(前年同期比6.1%増)となりました。利益面では、為替影響やT PMS製品の販売物量増のほか、原価改善等が寄与し、営業利益は46億53百万円(前年同期比16.8%増)となりました。

(その他)

その他は主に情報関連事業等のサービス事業から成っており、売上高は3億39百万円(前年同期比2.3%増)、営業利益は63百万円(前年同期比51.2%増)となりました。

なお、第2四半期連結会計期間において、太平洋開発株式会社の全株式を譲渡したことから、同社および太養興産株式会社(太平洋開発株式会社の子会社であり、当社の孫会社)の2社は、第2四半期連結会計期間末において連結の範囲から除外しております。

また、セグメント別の金額は、セグメント間取引の消去後の数値であります。

(2) 【財政状態に関する説明】

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は1,330億94百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億円の減少となりました。

資産の部では、流動資産は383億90百万円となり、前連結会計年度末と比較して9億91百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金が5億38百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が5億28百万円、たな卸資産が4億63百万円、その他流動資産が5億40百万円減少したことによるものであります。

固定資産は947億3百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億91百万円の増加となりました。これは主に、投資その他の資産が14億2百万円減少しましたが、設備投資に伴い有形固定資産が17億94百万円増加したことによるものであります。

負債の部では、流動負債は302億85百万円となり、前連結会計年度末と比較して14億72百万円の増加となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が11億29百万円、未払法人税等を含めた未払金が12億71百万円減少しましたが、1年内返済予定の長期借入金が37億99百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は260億24百万円となり、前連結会計年度末と比較して33億97百万円の減少となりました。これは主に、長期借入金が21億34百万円、その他固定負債が9億70百万円減少したことによるものであります。

純資産の部は、その他有価証券評価差額金が16億31百万円、為替換算調整勘定が10億18百万円減少しましたが、利益剰余金が40億71百万円の増加などにより、前連結会計年度末から13億24百万円増加し767億84百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は57.0%となり、前連結会計年度末と比較して、1.6ポイント増加しました。

(3) 【連結業績予想などの将来予測情報に関する説明】

業績予想につきましては、平成27年10月29日に公表しました通期の業績予想を据え置きとしております。

なお、第4四半期連結会計期間の為替レートは1US\$=115円を想定しております。

2. 【サマリー情報(注記事項)に関する事項】

(1) 【当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動】

第2四半期連結会計期間において、太平洋開発株式会社の全株式を譲渡したことから、同社および太養興産株式会社（太平洋開発株式会社の子会社であり、当社の孫会社）の2社は、第2四半期連結会計期間末より連結の範囲から除外しております。

(2) 【四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用】

該当事項はありません。

(3) 【会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示】

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）および「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて四半期純利益等の表示の変更および少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間および前連結会計年度については、四半期連結財務諸表および連結財務諸表の組み替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項（4）、連結会計基準第44－5項（4）および事業分離等会計基準第57－4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

(4) 【追加情報】

(連結子会社の事業年度等に関する事項)

従来、連結子会社のうち決算日が12月31日であった太平洋バルブ工業株式会社（韓国）、太平洋エアコントロール工業株式会社（韓国）については同日現在の財務諸表を使用し連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っていましたが、同2社が決算日を3月31日に変更したことに伴い、平成27年1月1日から平成27年3月31日までの3ヶ月分の損益については、利益剰余金に計上しております。

3. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,811	14,349
受取手形及び売掛金	15,104	14,576
商品及び製品	3,147	2,671
仕掛品	2,084	2,087
原材料及び貯蔵品	2,025	2,033
その他	3,241	2,700
貸倒引当金	△31	△28
流動資産合計	39,382	38,390
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,667	18,239
機械装置及び運搬具（純額）	21,398	23,162
工具、器具及び備品（純額）	4,329	5,424
土地	5,680	5,449
リース資産（純額）	486	444
建設仮勘定	8,053	5,689
有形固定資産合計	56,615	58,410
無形固定資産	1,002	1,001
投資その他の資産		
投資有価証券	30,735	28,988
その他	5,971	6,316
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	36,694	35,292
固定資産合計	94,312	94,703
資産合計	133,694	133,094

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,553	5,423
電子記録債務	6,281	6,578
短期借入金	3,698	3,480
1年内返済予定の長期借入金	2,990	6,790
未払金	4,154	3,543
未払法人税等	951	290
賞与引当金	1,487	785
役員賞与引当金	73	56
その他	2,622	3,336
流動負債合計	28,813	30,285
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	6,000	5,649
長期借入金	13,237	11,102
役員退職慰労引当金	233	247
退職給付に係る負債	201	246
その他	9,750	8,779
固定負債合計	29,422	26,024
負債合計	58,235	56,310
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,320	4,495
資本剰余金	4,597	4,787
利益剰余金	43,878	47,950
自己株式	△318	△294
株主資本合計	52,478	56,939
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,786	13,155
為替換算調整勘定	5,693	4,675
退職給付に係る調整累計額	1,183	1,108
その他の包括利益累計額合計	21,663	18,938
新株予約権	168	190
非支配株主持分	1,148	715
純資産合計	75,459	76,784
負債純資産合計	133,694	133,094

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	73,308	79,967
売上原価	62,695	68,331
売上総利益	10,613	11,636
販売費及び一般管理費	5,819	6,219
営業利益	4,794	5,417
営業外収益		
受取利息	22	41
受取配当金	442	558
持分法による投資利益	516	715
為替差益	428	—
その他	159	349
営業外収益合計	1,570	1,664
営業外費用		
支払利息	152	128
為替差損	—	221
その他	87	21
営業外費用合計	239	371
経常利益	6,125	6,710
特別利益		
固定資産売却益	0	9
関係会社株式売却益	—	44
特別利益合計	0	53
特別損失		
固定資産除売却損	20	115
減損損失	1,506	—
特別損失合計	1,527	115
税金等調整前四半期純利益	4,597	6,647
法人税等	1,701	1,218
四半期純利益	2,896	5,429
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,527	△6
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,424	5,435

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	2,896	5,429
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,860	△1,551
為替換算調整勘定	2,660	△991
退職給付に係る調整額	△8	△74
持分法適用会社に対する持分相当額	41	△148
その他の包括利益合計	5,553	△2,766
四半期包括利益	8,450	2,662
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,919	2,711
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,469	△48

(3) 【四半期連結財務諸表に関する注記事項】

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

項目	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	プレス・ 樹脂 製品事業	バルブ 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	49,855	23,120	72,976	332	73,308	—	73,308
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	300	300	△300	—
計	49,855	23,120	72,976	632	73,609	△300	73,308
セグメント利益又は セグメント損失(△)	778	3,983	4,762	42	4,804	△9	4,794

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報・サービス事業等であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△9百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他」セグメントにおいて、当社子会社所有のゴルフ場関連の固定資産について1,506百万円の減損損失を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

項目	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	プレス・ 樹脂 製品事業	バルブ 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	55,105	24,522	79,628	339	79,967	—	79,967
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	347	347	△347	—
計	55,105	24,522	79,628	687	80,315	△347	79,967
セグメント利益又は セグメント損失(△)	748	4,653	5,401	63	5,465	△47	5,417

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報・サービス事業等であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△47百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。